

テーマ 5 : 森ハブ・プラットフォーム構築

第3回専門委員会でご説明する事項と、ご意見いただきたい観点は下記の通りです

第3回専門委員会でのご説明事項

#	ご説明事項	主に確認・ご意見いただきたい点
1	森ハブ・プラットフォーム 会員申込状況サマリ	✓ 森ハブ・プラットフォームの会員申込状況についてご確認ください
2	キックオフイベント実施結果	✓ 11月に実施したキックオフイベントの実施結果についてご確認ください
3	シンポジウム実施内容	✓ シンポジウムの実施内容について、アドバイス等があればご教示ください ※ 議題 3 でピッチ登壇者の選定についてご承認をお願いいたします

第2回専門委員会でもいただいたご意見とその対応方針は下記の通りです

第2回専門委員会でものご意見と対応方針

項目	ご意見概要	対応方針
プラットフォーム構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会員数ではなく、マッチング率や事業化率を目標にしないと意味がない。真のニーズは何か聞き出して、そこからマッチングにつなげるというような方法で進めなければマッチング相手を見つけることは難しい ■ 本当のニーズを突き止めるコーディネーターが必要。コーディネーター像については、林業や技術の専門家ではなく異分野や文系の方でも良い ■ ニーズに対してできることはないかを企業に投げかけ、間に立って仲介する役割が必要。双方向にやり取りができるように促す仕組みを導入する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会員に対してニーズ・シーズアンケートを実施して結果取りまとめを行い、アンケート結果から出てきた課題・ニーズに対するシーズ提案を募集し、取り纏めて会員に共有する ■ より踏み込んだニーズの把握方法や、マッチングに向けた具体的な取組は次年度の課題として検討する
	<ul style="list-style-type: none"> ■ マッチングイベントで発表だけではなく、その後5分～10分程度個別相談を実施すると効果的である 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2月に実施するシンポジウムで、シーズ側会員によるピッチセッションを行い、その後個別相談の時間を設ける
	<ul style="list-style-type: none"> ■ ニーズについて、ニーズは何種類かに分けられるため、アンケート結果のニーズをもとに、分野別に小分けしたマッチングイベントを行った方が良いのではないかと 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 11月のキックオフイベントや、2月のシンポジウムで、分野ごとのブースを設置し、会員間交流や情報交換が行える場を設定する ■ R6年度においては、特定の分野や課題に絞った取組についても検討していく

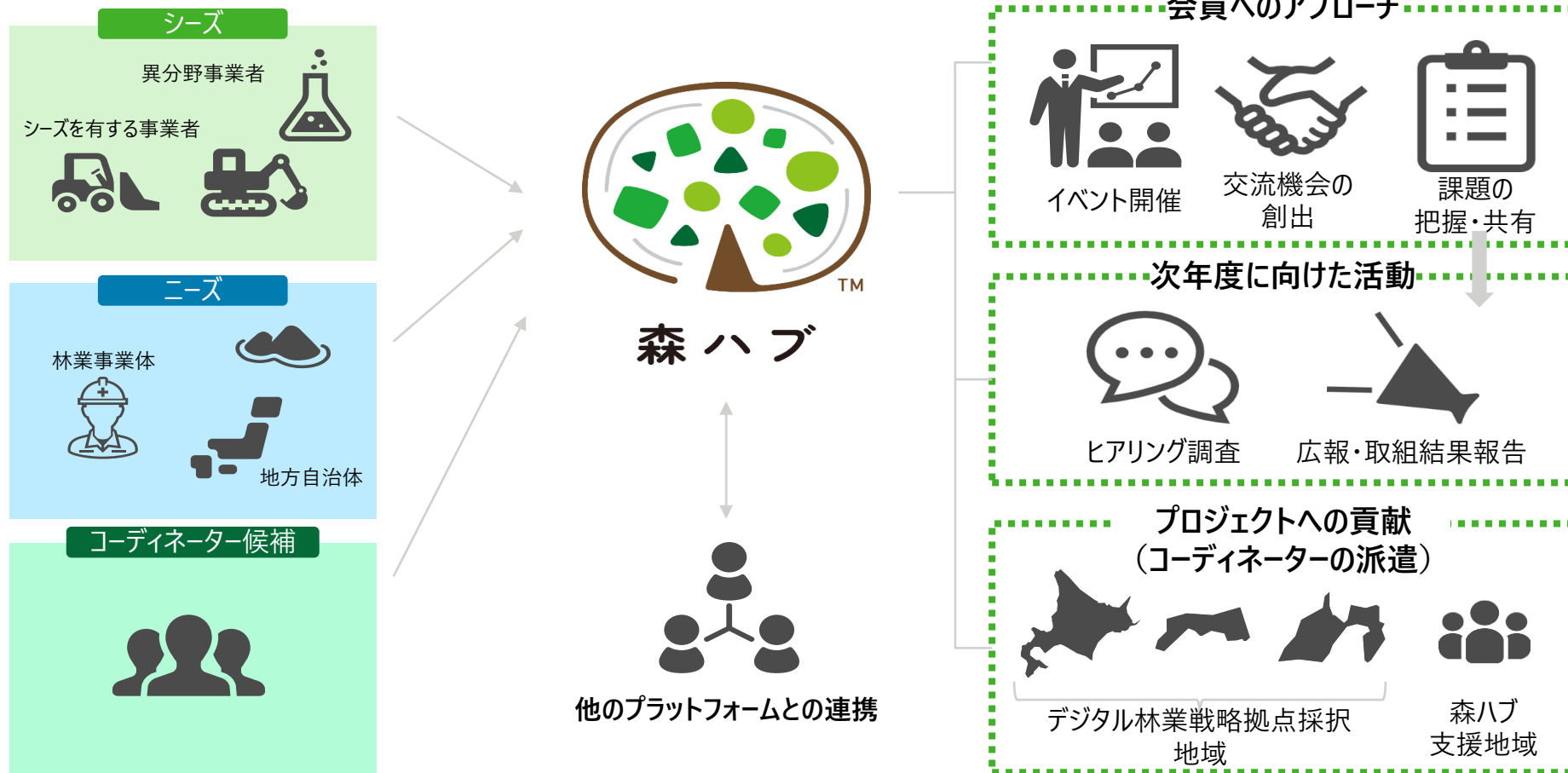
設置する森ハブ・プラットフォームでは課題の把握・共有やイベントを通じた交流機会の創出、並びにコーディネーターによる具体的な事業者支援を行います

第2回資料再掲

森ハブ・プラットフォームの全体像

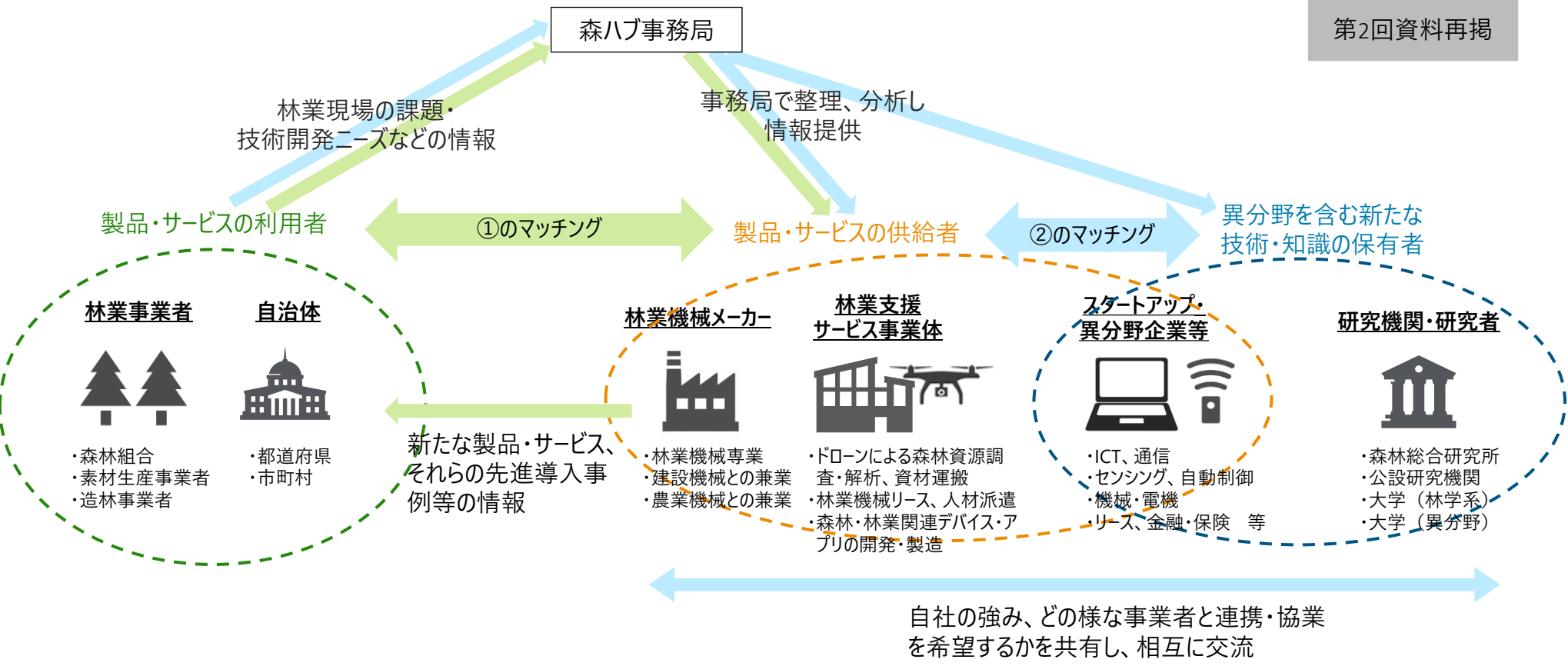
プラットフォームの 目的・位置づけ

林業イノベーションを推進するために必要となる組織・人材・情報を集約し、地域のニーズや事業者のシーズのマッチングによる新技術・新製品の普及、新たなビジネス・製品開発プロジェクト等の創出を促進し、林業の安全性と生産性向上を実現する



森ハブ・プラットフォームにおけるマッチングのイメージ

第2回資料再掲



①のマッチングのねらい
 林業現場のニーズにマッチした新たな製品・サービスの探索や比較検討を容易にすることで、林業現場への普及を加速

今後の取組案（R6年度も見据えて）
 ・マッチングイベントを開催し、製品・サービスの供給者によるプレゼン、先進導入事業者によるプレゼンを実施
 ・Webサイトにおける上記プレゼン内容のアーカイブ化

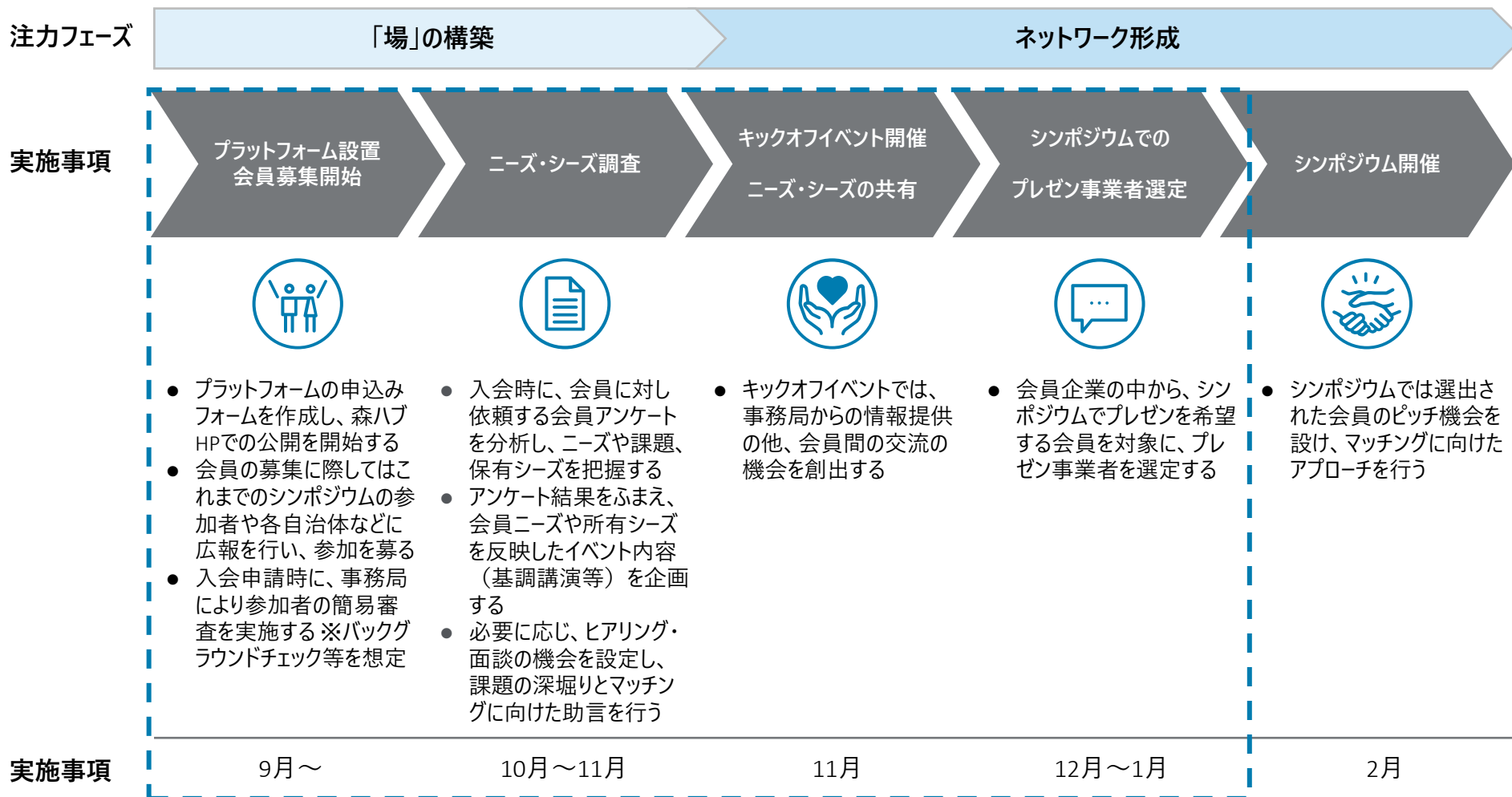
②のマッチングのねらい
 林業現場のニーズに即し、新技術を取り入れた新たな製品・サービスの開発・実用化や、新たなビジネスモデルの構築を加速

今後の取組案（R6年度も見据えて）
 ・マッチングイベントを開催し、各事業者がシーズ、連携・協業先の希望等をポスターやリーフレットとして掲示、参加者は自由に回遊して交流

森ハブ・プラットフォーム会員間のマッチングやネットワーク形成に向けたシンポジウムの開催準備を進めています

今年度事業の流れ

第2回資料再掲



今回のご説明対象範囲

1. 森ハブ・プラットフォーム会員申込状況サマリ

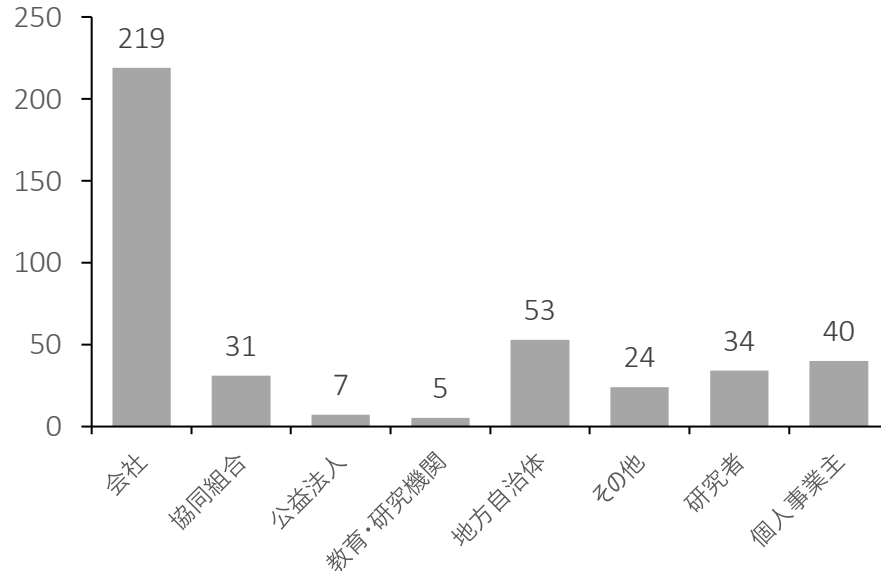
プラットフォームへの会員登録が完了しているものは12/27時点で413件あり、主に林業、林業支援サービス業、製造業、公務に関する方にご登録いただいております

プラットフォーム会員登録状況サマリ（12/27時点）

会員数 **413件**
(12/27 17:00時点)

事業形態

会員数



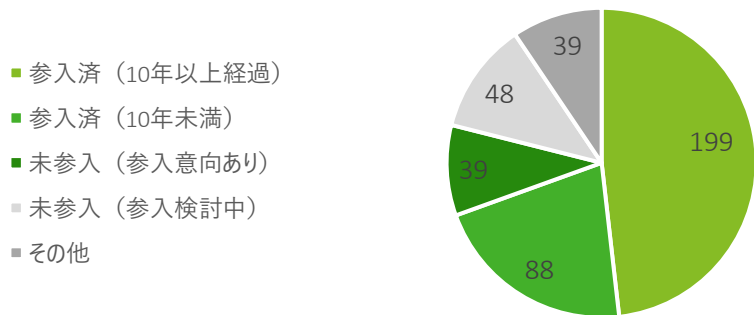
業種 ※複数回答

業種	件数
林業	256
林業支援サービス業	45
農業・漁業	3
鉱業	2
建設業	31
製造業	58
電気・ガス・熱供給・水道業	6
情報通信業	25
運輸業・郵便業	2
卸売業・小売業	15
金融業・保険業	7
不動産業・物品賃貸業	7
学術研究・専門・技術サービス業	53
宿泊業・飲食サービス業	3
生活関連サービス業・娯楽業	4
教育・学習支援業	7
医療・福祉	1
その他サービス業	24
公務	55
その他	93

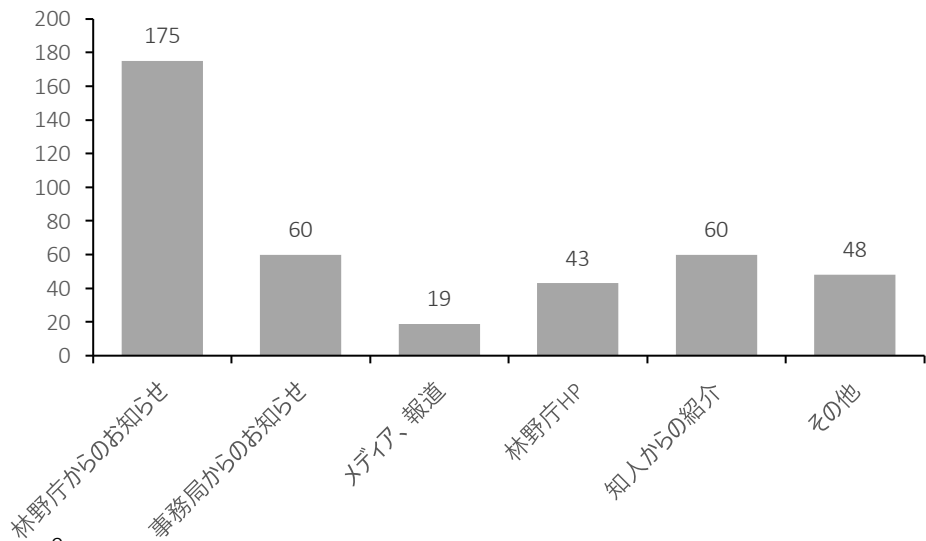
林業分野に参入済の事業者が約7割を占めており、興味関心のある領域は「森林調査、伐採・造林計画」「素材生産」「Jクレジット」「造林・保育」「木材流通」が挙がっています

プラットフォーム会員登録状況サマリ（12/27時点）

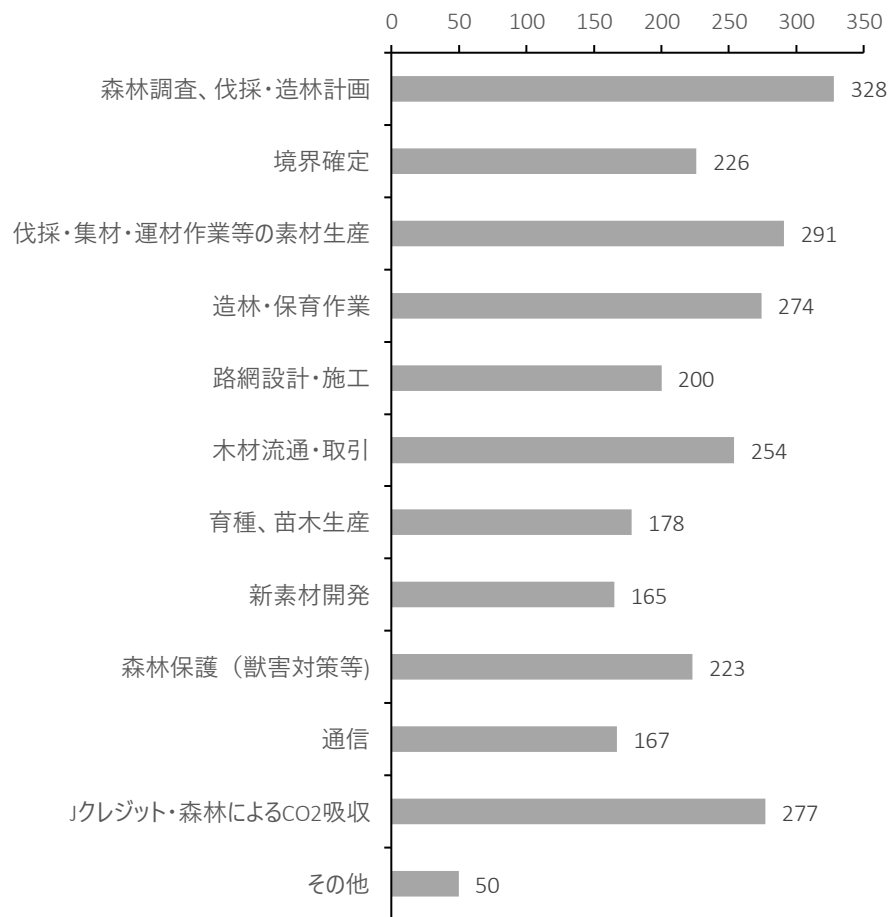
森林・林業分野への参入状況



プラットフォームを知ったきっかけ



興味・関心のある領域 ※複数回答



2. キックオフイベント開催結果

森ハブ・プラットフォームへの参画を促すプロモーション活動および会員間の交流機会創出を目的として、キックオフイベントを行いました

キックオフイベント実施概要

目的・位置づけ	<ul style="list-style-type: none">✓ 森ハブ・プラットフォームへの参画促進✓ 森ハブ・プラットフォーム設置の背景・目的、今後の取組、林業現場の課題・ニーズ情報の共有✓ 森ハブ・プラットフォーム会員間の交流機会創出
開催日時	2023年11月29日（水） 13:30～16:15
開催方法	<ul style="list-style-type: none">✓ 農林水産省講堂✓ オフラインのみでの実施とする ただし、第1部の内容はZoomの録画機能で動画撮影し 後日会員向けにYoutubeリンクの限定公開で共有する
対象者	<ul style="list-style-type: none">✓ 森ハブ・プラットフォーム会員 (森ハブ事業に興味・関心が高い企業や地域等を想定)✓ 参加予定人数：上限200人

当日はアンケート結果を基にした課題・ニーズ等の情報提供や、今後のプラットフォームでの活動において会員間のマッチングに繋げていくためのプログラムを実施しました

当日のプログラム

	プログラム	内容	発表者	時間配分
第1部	1. 主催者挨拶	—	林野庁	5分
	2. 主催者説明「森林・林業政策の展開方向と林業イノベーションの現場実装に向けた取組」	森ハブ・プラットフォーム設置の背景・目的、機能・今後の展開、林業現場の課題・ニーズ等について説明	林野庁	20分
	3. 講演「静動脈連携～課題起点の社会デザイン～想像から創造へ」	プラットフォームを活用してどのように自らの事業等に役立てることができるか、自ら発信していくこと、能動的に参画することの重要性について会員へアドバイス	森ハブ専門委員 見山先生	20分
	4. 事例紹介 ①株式会社中川「ドローンによる苗木運搬」 ②eleverlabo合同会社「世界最小機械製造メーカーへの道のり」	事例①：新たな技術を導入して生産性、安全性が改善、職員の生活や採用・人材育成にも好影響の事例として紹介 事例②：他分野から林業分野へ参入し、現場ニーズを踏まえて造林作業向けの機械を開発、製品化した事例として紹介	【進行・総括】 森ハブ専門委員 立花先生 【発表】 各事業者	45分
		休憩（レイアウト変更）		
第2部	5. 情報交換会（会員間交流）	事前アンケートで興味関心のある分野を選択いただき、ブースに分かれて自己紹介＆情報交換	【各ブース進行】 トーマツ・林野庁	60分

イベント当日は、林業・異分野を含め161人の方にご参加いただきました

当日の参加状況

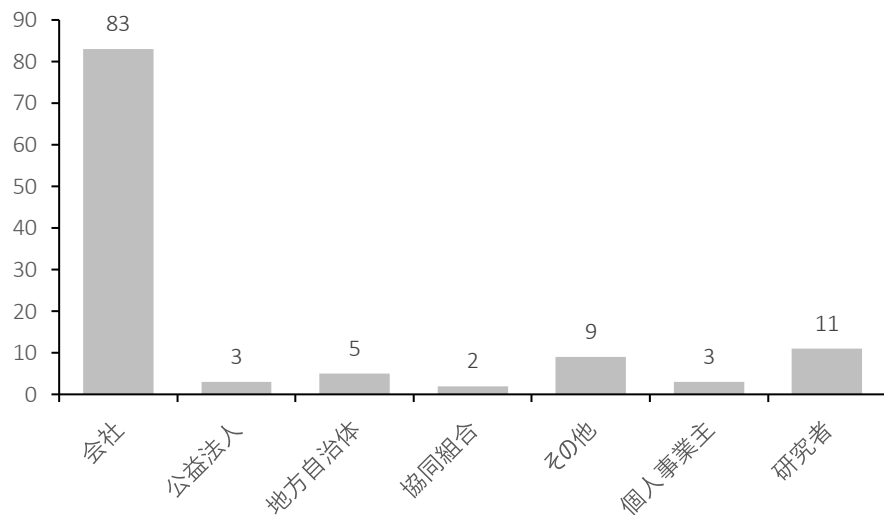
■ 参加状況

参加人数

161人（組織数：116）
※登壇者・マスコミ除く

参加者の事業形態

組織数



■ 当日の様子 第1部



第2部



3. シンポジウム実施内容

2月のシンポジウムでは、森ハブ事業報告とプラットフォーム会員のマッチング促進を目的としたシーズ提案事業者によるプレゼンと個別相談会を行う予定です

シンポジウム実施概要

名称	令和5年度林業イノベーション現場実装シンポジウム
開催日時	2024年2月8日（木）：森ハブ事業 2月9日（金）：林業機械化協会実施事業
開催方法	✓ 会場：木材会館（新木場） https://www.mokuzai-tonya.jp/mokuzaikaikan/index.html#access ✓ 後日動画共有あり
対象者	✓ 林業イノベーションや森ハブに興味をお持ちの方（プラットフォーム会員に限らない） ✓ 定員：250人 ※8日は1機関2名までとする、9日は特に制限しない
2月8日 プログラム (予定)	第1部（10:00～12:30） ・森ハブ事業報告【30分】 ・デジタル林業戦略拠点報告【60分】 ・パネルディスカッション【50分】 第2部（13:30～17:00）*森ハブ・プラットフォーム会員のみ参加 ・林業現場の課題解決に役立つ最新技術の プレゼンテーション ・情報交換会・個別相談会

当日のプログラムは、下記内容を想定しております

2月8日実施プログラム

	プログラム	内容	発表者	時間配分
第1部	1. 開会挨拶	—	林野庁	5分
	2. 森ハブ事業報告	今年度取組み（テーマ4 地域への伴走支援、テーマ5 プラットフォーム構築）について説明	トーマツ 南那珂森林組合	30分
	3. デジタル林業戦略拠点構築推進事業の報告	3拠点(北海道、静岡、鳥取)の地域コンソより、今年度の取組みについて説明	住友林業 地域コンソ	60分 (1地域15分、事務局15分)
	4. パネルディスカッション	森ハブ・プラットフォームのこれまでを振り返り、今後の活動を展望	立花先生 見山先生 柴田委員 中澤室長 安高課長	50分
	※登壇者について別紙でご説明			昼休憩
第2部	5. 森ハブ・プラットフォーム会員によるシーズ提案のプレゼンテーション	プラットフォーム会員が、林業現場の課題解決に資する製品・サービス等を提案するプレゼンを実施	森ハブ・プラットフォーム 会員	120～150分 (1社10分)
	休憩（レイアウト変更）			15分
	6. 情報交換会・個別相談会	プレゼン登壇者との個別相談や、会員同士の情報交換を実施	—	60分